

折り、願い、抱きしめる。孤高のうたうたいが紡ぐ旅の記録。
ドキュメンタリー

大丈夫であるように

—Cocco 終わらない旅—

監督：是枝裕和



歌で何ができるのかわからないけど、失くすものも守れないものもいっぱいあるけど、それでもやっていこうと思う。
Cocco

Coccoの旅に同行した。きっかけはライブ・アースでジュゴンのことを語り、唄う、彼女の姿を見たことだった。僕の中で何かが震えた。何かしたい——素直にそう思った。だから、撮らせてもらうことにした。泣きながらカメラを回したのは生まれて初めてだ。この感情を一人でも多くの人たちと共有できたらいいなあと、今、強く思っている。
映画監督 是枝裕和

監督
是枝裕和

旅のはじまりは1通の手紙だった——独自の感性と唯一無二の存在感で、熱狂的なファンをもつミュージシャンCocco。沖縄の米軍基地移設予定の海に現れた2頭のジュゴンの姿に喚起された彼女は「ジュゴンの見える丘」を発表。沖縄で生まれた彼女は、歌を通じ、何かを変えていこうとしていた。そんな折に届いたファンからの手紙。それは核再生処理施設のある青森県・六ヶ所村に暮らす少女からのものだった。そしてCoccoは北へ向かい、知る、自分と同じ痛みを抱える人が日本中にはまだたくさんいることを、自分たちも知らずに何かをしてしまっていることを、原爆ドーム、ひめゆりのおばあさん、息子のこと、死ぬこと、生きること…美しいもの醜いものもすべて胸に刻み、唄いながら、折りながら旅は続いていく。日本中の傷跡に、いつか花が咲くように、みんなの明日と将来と夢が、大丈夫であるように。
「誰も知らない」「歩いてても 歩いてても」は是枝裕和監督が描く、光を希求するひとりのうたうたいの終わりのなき旅の物語。

出演：Cocco 長田 雅、大村達也、高橋 聖、植野 一、瀬江 博久 プロデュース・監督・編集：是枝裕和 撮影：山崎 裕、高野 大樹 録音：黒木 健二 助監督：砂田 麻美 スチール：nanaco 広告美術：サン・アド 制作：ビクターエンタテインメント、是枝裕和、クロックワークス、104 co ltd.、ジーマ&マーシー 配給・宣伝：クロックワークス ©2008「大丈夫であるように」制作委員会
2008年/日本映画/カラー/ステレオ/ビスタ/上映時間107分 題字：Cocco

収益の一部は
「辺野古基金」に
寄付します。

8/29(土)→9/11(金)
緊急公開決定!! 連日21時より
【当日料金】一般1,200円
大学生・専門学校生、会員、シニア1,000円(消費税別)

渋谷Bunkamura前交差点左折
ユーロスペース
EUROSPACE
03(3461)0211 www.eurospace.co.jp

